



人と暮らしを結ぶ港へ！

～衣浦港・航路（－12m）浚渫工事 本格化～

衣浦港は、石炭・米穀類・チップなどの貨物を主に取り扱うとともに、臨海部や背後地から出荷される工業製品の積み出しを行うなど、知多・西三河地域における物流・生産活動を支える工業港として、重要な役割を果たしています。

こうした物流機能の充実や船舶の大型化に対応するため、船舶が航行する航路の拡幅の事業を進めており、平成27年度の浚渫工事を8月初旬より開始します。

●工事の目的・概要（別紙参照）

航路の拡幅は「浚渫船」と呼ばれる作業船で海底の土砂を掘り、掘った土砂は衣浦港ポートアイランドに「空気圧送船」と呼ばれる作業船で土砂を陸上に揚げます。

浚渫船で一回に海底の土砂を掘れる量は、ダンプトラック10トンに換算すると約4台分。一日では約600台分の量になります。

●配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、半田記者クラブ、碧南記者クラブ、
港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

●問合せ先

※取材・視察などのお問い合わせにつきましては、以下の窓口までご連絡願います。

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 衣浦港事務所
航路管理課 課長 伊藤（いとう）

Tel 0569-21-2311

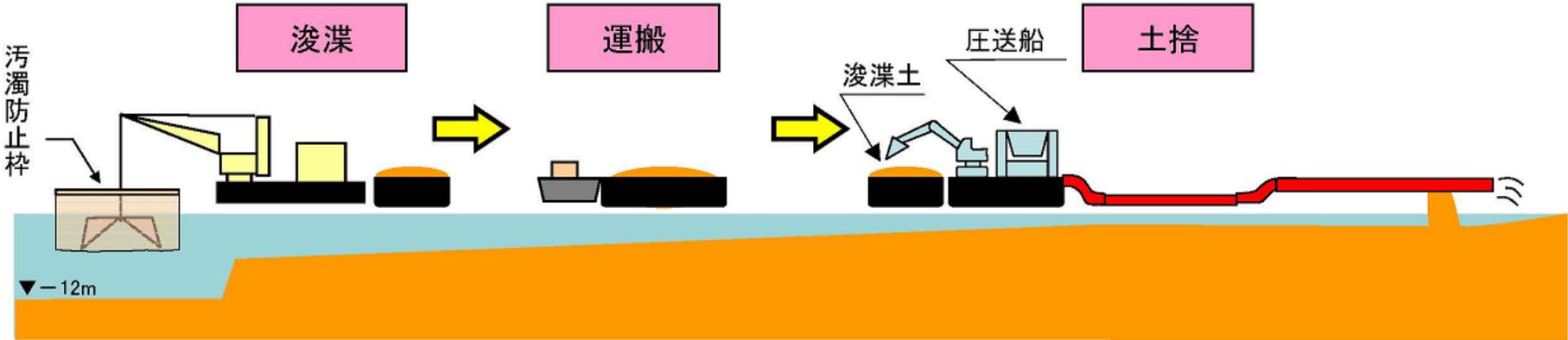
Fax 0569-21-2312



一回で10トンダンプトラック 約4台分の土砂を掘ります



大型化する船舶のために浚渫工事を行います



浚渫工事のイメージ